

佛教学論集 総目次

氏名	タイトル(内題)	号数(発行年月)	掲載頁
望月 欽厚	《巻頭言》希望を寄せる	創刊号(1964年5月)	1
鈴木 治美	日蓮宗諸寺制定の法式に依る教団推移考(上) 特に妙覚寺法式への導入期を中心として	創刊号(1964年5月)	2-24
岩田 良三	発菩提心について 正法眼蔵附聞記を中心として	創刊号(1964年5月)	24-28
丹治 智義	天台大師伝について	創刊号(1964年5月)	28-31
編集部	《卒論審査報告書》日比宣正著『荊溪湛然の研究』著述の成立年次に関する考察	創刊号(1964年5月)	32-38
坂輪 宣敬	敦煌壁画の一考察	創刊号(1964年5月)	38-41
編集部	【昭和三十八年度 論文目録】	創刊号(1964年5月)	42
編集部	【院仏研会則】	創刊号(1964年5月)	43
編集部	【住所録】	創刊号(1964年5月)	46
編集部	【後記】	創刊号(1964年5月)	49
編集部	【印度仏教学備要】	創刊号(1964年5月)	1(L)
編集部	【目次】	第2号(1966年4月)	-
坂本 幸男	《巻頭言》亡是非論	第2号(1966年4月)	2-3
桐谷 征一	月婆首那の事蹟に関する一考察 僧伝資料検討・その一	第2号(1966年4月)	4-14
岩田 良三	摂大乘論釈に説かれる浄土と菩薩との関係について	第2号(1966年4月)	14-20
小池 政臣	西独青年との対話	第2号(1966年4月)	21-25
鈴木 治美	本尊論私見	第2号(1966年4月)	25-30
冠 賢一	不受不施派流罪僧の出版活動について	第2号(1966年4月)	30-42
灘上 謙一	菩薩に関する一考察	第2号(1966年4月)	42-51
坂輪 宣敬	理想と連帯感の欠如	第2号(1966年4月)	51-54
編集部	【昭和三十九 四十年 論文目録】	第2号(1966年4月)	55-57
編集部	【住所録】	第2号(1966年4月)	57-60
編集部	【目次】	第3号(1967年4月)	-
坂本 幸男	《巻頭言》国宝と菩薩	第3号(1967年4月)	2-3
鈴木 治美	『験記』最澄伝考	第3号(1967年4月)	4-15
桐谷 征一	鳩摩羅什の卒年に関する再検討 特に叢論を中心として 僧伝資料検討・その二	第3号(1967年4月)	15-31
釈 賢徳	唯識思想史の概要	第3号(1967年4月)	32-41
坂輪 宣敬	唐草文様について	第3号(1967年4月)	41-47
石川 康明	「正法」にしたがい、「時」にもとづく観点について	第3号(1967年4月)	47-52
辻本 弥一郎	南岳慧思禅師について	第3号(1967年4月)	52-58
赤羽 重夫	現一切色身三昧の諸身について 法華経異本の比較	第3号(1967年4月)	59-63
編集部	【昭和四十一年度 論文目録】	第3号(1967年4月)	63-64
編集部	【院仏研会則】	第3号(1967年4月)	64-66
編集部	【住所録】	第3号(1967年4月)	66-69
編集部	【目次】	第4・5号(1968年12月)	-
坂本 幸男	《巻頭言》宗教者の生活	第4・5号(1968年12月)	2-3
野村 耀昌	偶感	第4・5号(1968年12月)	4-5
石川 康明	古代～中世における仏教的歴史観形成に関するノート 末法認識と関連して	第4・5号(1968年12月)	6-21
ナレシ・マントリ	妙法華経に於ける宮殿の意味について	第4・5号(1968年12月)	21-24
従野 公徹	不動・愛染感見記の一考察	第4・5号(1968年12月)	24-31
島 和子	仏教と日本文化	第4・5号(1968年12月)	32-36

佛教学論集 総目次

水島 光一	啓運抄に於ける五重玄の約行約説について	第4・5号(1968年12月)	36-41
森 正行	法華經の宥和性について	第4・5号(1968年12月)	42-45
渡辺 信勝	立誓願文慈思著作の真偽問題	第4・5号(1968年12月)	46-61
滑瀬 薫	「観心本尊抄四十五字法体段」について 特に滑水・山川両先生所論を中心にして	第4・5号(1968年12月)	62-71
編集部	【住所録】	第4・5号(1968年12月)	71-75
編集部	【目次】	第6号(1969年12月)	-
宮崎 英修	《巻頭言》門流宗学形成に関して	第6号(1969年12月)	2-3
仲澤 浩祐	サーンキヤ哲学におけるチェータナー(cetanā)について	第6号(1969年12月)	4-11
久留官 圓秀	『広破論』の研究「支分に関する検討」の翻訳と解説	第6号(1969年12月)	11-21
松村 顕	在地の葬祭受容形態について	第6号(1969年12月)	22-30
ナレシ・マントリー	インドに於ける時代観 法華經との関連について	第6号(1969年12月)	30-35
森 正行	法華經とBhakti信について	第6号(1969年12月)	35-41
石川 修平	立正安国論に於ける上行菩薩の問題	第6号(1969年12月)	42-59
広瀬 梅恵	日蓮聖人の宗教的倫理観の考察 序に代えて	第6号(1969年12月)	59-69
本間 厚一	自昌院夫人の片影	第6号(1969年12月)	70-82
土田 博人	〈随筆〉島秋人さんの遺愛集より	第6号(1969年12月)	82-84
関口 彰裕	宗教に於ける法律の史的観察ノート	第6号(1969年12月)	85-89
雨宮 文敏	碑銘に現われた仏塔供養について	第6号(1969年12月)	90-104
竹上 昭孝	仏教学研究の特殊性について	第6号(1969年12月)	105-108
浜田 恵王	池上家の信仰	第6号(1969年12月)	108-120
黎 紋波(禪定)	ヴェトナムの仏教	第6号(1969年12月)	121-131
編集部	【住所録】	第6号(1969年12月)	131-134
編集部	【編集後記】	第6号(1969年12月)	135
編集部	【目次】	第7号(1970年12月)	-
塚本 啓祥	《巻頭言》研究の視点と方法 dharmaの研究に関連して	第7号(1970年12月)	2-4
ナレシ・マントリー	陀羅尼呪文に於ける女神の問題	第7号(1970年12月)	5-9
李 俊生	中共の仏教政策を客観す	第7号(1970年12月)	9-16
渡辺 信勝	右繞三市事証 その一 寺治御書・富木入道殿御返事	第7号(1970年12月)	16-21
北村 聰	研究ノート「大光寺移転考」	第7号(1970年12月)	21-27
斎藤 寿一	課題への道しるべ	第7号(1970年12月)	27-32
林 幹夫	身延山一老職について	第7号(1970年12月)	32-35
宮崎 英一	上古における興門下の本尊観	第7号(1970年12月)	35-40
望月 海英	仏説孟蘭盆經の一考察	第7号(1970年12月)	40-44
山口 晃一	文献解釈学類考	第7号(1970年12月)	44-57
吉田 永正	根本分裂の原因に於ける一考察 僧伽抗争を中心として	第7号(1970年12月)	57-67
宇都宮 照子	本門戒壇への考察	第7号(1970年12月)	68-73
浜田 恵王	日蓮聖人「観心本尊抄」に於ける受持譲与の必然的関連性	第7号(1970年12月)	74-82
森 正行	法華經の超越性について	第7号(1970年12月)	83-89
石川 修平	日蓮思想に於ける妙法仏種と末世救済の論理	第7号(1970年12月)	89-110
土田 博人	北国紀行 伝道の旅	第7号(1970年12月)	110-115
編集部	【執筆者紹介】	第7号(1970年12月)	115-118
編集部	【編集後記】	第7号(1970年12月)	119

佛教学論集 総目次

Bhikkhu Sumangala	BUDDHISM IN NEPAL	第7号(1970年12月)	1-11(L)
編集部	【目次】	第8号(1971年12月)	-
茂田井 教亨	《巻頭言》宗学的思考について	第8号(1971年12月)	2-3
大森 宣昌	剣術伝書に見られる「無心」と「水月」の位について	第8号(1971年12月)	4-11
レ・ミン・タム	ベトナム仏教の伝来について	第8号(1971年12月)	12-17
小林 正雄	主張もある宗教についての雑感	第8号(1971年12月)	18-27
ナレシ・マントリー	陀羅尼の本来の意味と役割について	第8号(1971年12月)	27-32
森 正行	法華經に於ける信の宗教哲学的一考察	第8号(1971年12月)	32-37
渡辺 信勝	法蔵について(一)(その序)	第8号(1971年12月)	37-51
北川 前肇	日蓮聖人に於ける「本時」の一考察	第8号(1971年12月)	52-63
石川 裕光	本尊抄に於ける凡心具仏の論証過程	第8号(1971年12月)	63-72
庵谷 行亨	『本尊抄』に於ける日蓮聖人の四菩薩観試論	第8号(1971年12月)	72-82
関口 彰裕	「法の研究」その基礎的構成について	第8号(1971年12月)	82-86
仲澤 浩祐	中論我品におけるヴァイシュエシカ(勝論)派の我説批判	第8号(1971年12月)	87-93
編集部	【執筆者紹介】	第8号(1971年12月)	94-96
編集部	【編集後記】	第8号(1971年12月)	-
岩田 良三	カーカー・カレルカル著 インドの宗教	第8号(1971年12月)	1-9(L)
編集部	【正誤表】	第8号(1971年12月)	-
編集部	【目次】	第9号(1972年12月)	-
浅井 円道	《巻頭言》	第9号(1972年12月)	2-3
三友 健容	『順正理論』における法体恒有論について 特に『俱舍論』と対比して	第9号(1972年12月)	4-21
釈 聖厳	『大乘止観法門』の心意識論	第9号(1972年12月)	22-32
渡辺 信勝	法蔵について(一)(その二)	第9号(1972年12月)	33-51
小野 文琬	『与薩庵書』にみる本妙日臨師の信仰宗学	第9号(1972年12月)	52-68
北村 聰	日蓮宗寺院の出開帳とその寺院経営 松葉谷ヶ妙法寺の事例を中心として	第9号(1972年12月)	69-89
編集部	【執筆者紹介】	第9号(1972年12月)	90
編集部	【大学院仏教学専攻修士請求論文題目一覧】	第9号(1972年12月)	91-96
編集部	【編集後記】	第9号(1972年12月)	96
編集委員	【目次】	第10号(1973年12月)	-
塚本 啓祥	《巻頭言》研究の視点と方法 仏塔と支提に関連して	第10号(1973年12月)	2-4
茂田井 教亨	〈追悼〉坂本先生の回想	第10号(1973年12月)	5-6
庵谷 行亨	日蓮聖人の受持の概念 日蓮聖人引用の法華經を中心として	第10号(1973年12月)	7-18
本間 裕史	日蓮聖人における戒意識の一考察	第10号(1973年12月)	19-33
花野 充昭	四重興廢の成立時期に関する一考察	第10号(1973年12月)	34-53
下川邊 季由	宇井訳『大乘莊嚴經論』の問題点	第10号(1973年12月)	54-61
北川 前肇	日蓮聖人における法華色説の一考察	第10号(1973年12月)	62-75
編集委員	【執筆者紹介】	第10号(1973年12月)	76
編集委員	【大学院仏教学専攻修士請求論文題目一覧】	第10号(1973年12月)	77
編集委員	【編集後記】	第10号(1973年12月)	78
編集委員	【目次】	第11号(1975年2月)	-
宮崎 英修	《巻頭言》	第11号(1975年2月)	1-2
三友 健容	天台における円・頓・漸の定義と教判	第11号(1975年2月)	3-13

佛教学論集 総目次

渡辺 信勝	右繞三市事証 その二 一念三千法門と一念三千仏種（問題点の所在を中心として）	第11号(1975年2月)	14-37
伊藤 立教	『折伏教典』考証	第11号(1975年2月)	38-60
小野 文琬	「今」と「本時」本尊抄ノート	第11号(1975年2月)	61-75
編集委員	【執筆者紹介】	第11号(1975年2月)	76
編集委員	【大学院仏教学専攻修士請求論文題目一覧】	第11号(1975年2月)	77
編集委員	【仏教学論集目録(1—10号)】	第11号(1975年2月)	78-80
編集委員	【編集後記】	第11号(1975年2月)	81
編集委員	【目次】	第12号(1976年2月)	—
勝呂 信静	《巻頭言》思想研究の一方法 漢訳の性と相	第12号(1976年2月)	2-5
石川 教道	日蓮聖人の宗教に於ける布教伝導の本質について	第12号(1976年2月)	6-23
山崎 守	大乘集菩薩学論(Śikṣāmuccaya)の原典研究 戒波羅蜜における正法摄受第二章の和訳	第12号(1976年2月)	24-35
北川 前肇	慶林院日隆の顕本論(一)	第12号(1976年2月)	36-46
編集委員	【執筆者紹介】	第12号(1976年2月)	47
編集委員	【大学院仏教学専攻修士請求論文題目一覧】	第12号(1976年2月)	48
編集委員	【編集後記】	第12号(1976年2月)	49
下川邊 季由 高山 博史	『五蘊論』研究(一)	第12号(1976年2月)	1-29(L)
編集委員	【目次】	第13・14号(1978年3月)	—
宮崎 英修	《巻頭言》	第13・14号(1978年3月)	2-3
高岡 完匡	『開目抄』『本尊抄』における五義の展開	第13・14号(1978年3月)	4-12
下宮 高純	〈史料〉法華講式	第13・14号(1978年3月)	13-33
戸田 善育	中山遠寿院祈禱相承関係資料(一)「正中山祈禱相承法式條目」	第13・14号(1978年3月)	34-47
有村 友伸	日蓮聖人の謗法観とその現代的意義	第13・14号(1978年3月)	48-55
高橋 正男	青・少年期の回心と日蓮聖人	第13・14号(1978年3月)	56-72
編集委員	【編集後記】	第13・14号(1978年3月)	74
編集委員	【目次】	第15号(1980年3月)	—
塚本 啓祥	《巻頭言》研究の視点と方法 經典の成立とその背景	第15号(1980年3月)	1-2
芹沢 一男	慶林坊日隆の時間論 五百塵点実説論について	第15号(1980年3月)	3-15
木川 敏雄	提婆とイスカリオテスのユダ	第15号(1980年3月)	16-36
末木 康弘	Bodhisattvabhūmiの研究 成立過程の考察	第15号(1980年3月)	37-52
熊谷 進	過去七仏の成立に関する一考察	第15号(1980年3月)	53-68
遠山 正道	日相の著述紹介	第15号(1980年3月)	69-86
編集委員	【編集後記】	第15号(1980年3月)	87
編集委員	【目次】	第16号(1983年3月)	—
渡邊 寶陽	《巻頭言》仏教学研究の広まりと深まり	第16号(1983年3月)	1-3
清水 海隆	『瑜伽師地論』の原典研究(Ⅰ) 五識身相応地第一の和訳	第16号(1983年3月)	4-29
的場 慶雅	隋唐代における観音信仰についての一考察 靈驗説話に見える信仰形態を中心として	第16号(1983年3月)	30-45
西片 元證	日蓮聖人の即身成仏論の基礎的考察 慧心作『即身成仏義私記』を参照して	第16号(1983年3月)	46-58
千明 東道	三昧(samādhi)と如来蔵思想に就いて samādhi-dhātu-garbhaの概念を中心として	第16号(1983年3月)	59-71
山本 利秀	五台山開基の事情について	第16号(1983年3月)	72-83
関戸 啓造	『祖書綱要』に見る一妙院日導の仏陀観について	第16号(1983年3月)	84-88
林 清子	泉鏡花と法華經	第16号(1983年3月)	89-92
光嵐 由利	唐と吐蕃との関係 河西九曲の地について	第16号(1983年3月)	93-96

佛教学論集 総目次

望月 真澄	近世寺院のアジュールに関する二、三の史料	第16号(1983年3月)	97-107
編集委員	【編集後記】	第16号(1983年3月)	108
編集委員	【目次】	第17号(1984年3月)	-
浅井 円道	《巻頭言》寿量品肝要名体宗用教南無妙法蓮華經	第17号(1984年3月)	5-9
清水 海隆	『瑜伽師地論』の原典研究(Ⅱ) 意地第二の和訳(その一)	第17号(1984年3月)	10-23
西片 元證	日蓮聖人教学に於ける即身成仏の一考察 日蓮聖人遺文引用説話利用の一試験(上)	第17号(1984年3月)	24-34
寺尾 英智	日蓮聖人真蹟大曼荼羅の伝来 比企谷妙本寺所蔵大曼荼羅について	第17号(1984年3月)	35-47
平島 盛雄	日蓮聖人の仏種論に関する一考察	第17号(1984年3月)	48-58
関戸 堯海	日蓮聖人と『一乗要決』源信評価の推移を中心にして	第17号(1984年3月)	59-71
池上 和夫	身口意の三業について 特に原始經典について	第17号(1984年3月)	72-82
望月 真澄	日蓮宗における儀礼行事の近世的展開 法華経読誦会の年中行事化をめぐる	第17号(1984年3月)	83-99
原 慎定	日蓮聖人の提婆達多観「逆罪」研究の視点から	第17号(1984年3月)	100-112
高佐 宣長	『立正安国論』試論	第17号(1984年3月)	113-120
目黒 きよ	優陀那日輝の一念三千論の特色	第17号(1984年3月)	121-137
郭 率	印度大乘仏教に於ける阿弥陀仏信仰の位置について 莊嚴浄土と無量寿經の關係を中心として	第17号(1984年3月)	138-140
編集委員	【執筆者紹介】	第17号(1984年3月)	141-143
編集委員	【編集後記】	第17号(1984年3月)	-
編集委員	【目次】	第18号(1986年3月)	-
佐々木 孝憲	《巻頭言》	第18号(1986年3月)	4-6
関戸 堯海	日蓮聖人の涅槃経受容	第18号(1986年3月)	7-52
平島 盛雄	下種に関する一考察 原始天台における開法下種の論理構造	第18号(1986年3月)	53-65
原 慎定	日蓮聖人の「提婆達多」解釈について 提婆達多救済の論理性	第18号(1986年3月)	67-93
武 清敏	越南李朝仏教史の研究 李朝成立年代の考察(西暦1009-1225年)	第18号(1986年3月)	95-114
都守 基一	日蓮聖人遺文にみられる靈山往詣の説示	第18号(1986年3月)	115-131
千明 東道	『法華経』第一章「序品」・第二章「方便品」の問題点「法」Dharma解釈の問題提起	第18号(1986年3月)	133-136
編集委員	【仏教学論集目録(1-17号)】	第18号(1986年3月)	137-141
編集委員	【編集後記】	第18号(1986年3月)	-
編集委員	【執筆者】	第18号(1986年3月)	-
編集委員	【目次】	第19号(1990年3月)	-
勝呂 信静	《巻頭言》随想	第19号(1990年3月)	2-6
関戸 堯海	田村芳朗先生の思い出	第19号(1990年3月)	7-11
寺尾 英智	中山法華経寺旧蔵の日蓮聖人真筆曼荼羅本尊 日等筆臨写本について	第19号(1990年3月)	12-61
福士 慈稔	新羅仏教伝来考	第19号(1990年3月)	62-78
吉木 英雄	僧尼令とその周辺(一) 仏法と王法の観点から	第19号(1990年3月)	79-125
望月 成浩	『守護国家論』の一考察 立正安国の前提条件	第19号(1990年3月)	126-137
生田 観周	一念三千論に於ける事	第19号(1990年3月)	138-149
宮澤 勘次	天台大師の「即」考序説	第19号(1990年3月)	150-162
編集委員	【編集後記】	第19号(1990年3月)	-
編集委員	【執筆者紹介】	第19号(1990年3月)	-
杉山 清一	『BHAGAVAD-GĪTĀ』和訳ノート(1)	第19号(1990年3月)	22-71(L)
望月 海慧	『帰依の説示』試訳 A small text of Atīśa (1) *Śaraṇagamanadeśanā	第19号(1990年3月)	1-21(L)
田賀 龍彦	《巻頭言》	第20号(1996年3月)	-

佛教学論集 総目次

編集委員	【目次】	第20号(1996年3月)	—
吉木 英雄	僧尼令とその周辺(二) 仏法と王法の観点から	第20号(1996年3月)	1-19
山崎 輝夫	長松清風の「十二宗名」教学についての一考察	第20号(1996年3月)	20-28
徐 徳仙	円測の『解深密経疏』における真諦説への批判について	第20号(1996年3月)	29-36
田村 完爾	安国院日講の『録内啓蒙』における本門三妙	第20号(1996年3月)	37-46
大谷 正幸	国立国会図書館所蔵本『不尽道別』について 解題と翻刻	第20号(1996年3月)	47-62
渡辺 卓睦	〈月例研究発表会研究報告〉 能に見られる仏教について	第20号(1996年3月)	63-64
高森 大乗	〈月例研究発表会研究報告〉 日蓮聖人における譬喩蓮華釈について	第20号(1996年3月)	64-65
渡辺 彰良	〈月例研究発表会研究報告〉 日蓮聖人の法華経行者観に関する一考察	第20号(1996年3月)	65-66
光林 孝弘	〈月例研究発表会研究報告〉 円光日陳の顕本論 顕本論の視角について	第20号(1996年3月)	66-67
曹 良淑	〈月例研究発表会研究報告〉 天台教学における境妙 十二因縁を中心として	第20号(1996年3月)	67-68
新川 精一	〈月例研究発表会研究報告〉 身延門流の展開 日重『見聞愚案記』を中心として	第20号(1996年3月)	69-70
鶴岡 雅代	〈月例研究発表会研究報告〉 日蓮聖人における歴史叙述の一考察 慈円との比較を通して	第20号(1996年3月)	70-71
市川 晴朗	〈月例研究発表会研究報告〉 弥勒と阿達多について	第20号(1996年3月)	71-72
杉崎 達也	〈月例研究発表会研究報告〉 『郁伽長者経』に関する一考察	第20号(1996年3月)	72-73
小瀬 修達	〈月例研究発表会研究報告〉 天台の仏身観と実相論	第20号(1996年3月)	74-75
王 文雄	〈月例研究発表会研究報告〉 日蓮聖人の天台止観の実践の一考察	第20号(1996年3月)	75-76
室伏 見秀	〈月例研究発表会研究報告〉 法華義疏に関する一考察	第20号(1996年3月)	76-77
小山田 和正	〈月例研究発表会研究報告〉 「死体と死者」釈尊涅槃図は死体美術か？	第20号(1996年3月)	77-78
中里 観泰	〈月例研究発表会研究報告〉 中世蝦夷地への仏教伝播とその展開	第20号(1996年3月)	79
三田村 英宗	〈月例研究発表会研究報告〉 観音経における一考察 一心称名・即得解脱に関して	第20号(1996年3月)	80-81
岩間 良正	〈月例研究発表会研究報告〉 戒律に現れる風土性から見た印度の仏教僧伽	第20号(1996年3月)	81-82
高須 薫	〈月例研究発表会研究報告〉 慶林坊日隆教学の一考察 末法凡夫の信行観	第20号(1996年3月)	82-83
杉本 潔宣	〈月例研究発表会研究報告〉 天台大師智顗の法華三大部講読に於ける「一念」の一考察	第20号(1996年3月)	83-84
編集委員	【彙報】	第20号(1996年3月)	85-86
編集委員	【編集後記】	第20号(1996年3月)	87-88
編集委員	【執筆者紹介】	第20号(1996年3月)	89
立正大学大学院 部派佛教思想研究会	Abhidharma文献におけるalocanaの用例	第20号(1996年3月)	50-66(L)
斎藤 龍裕	Ratnakarāsāntiの種性論	第20号(1996年3月)	38-49(L)
望月 海慧	「空を特徴とする」は仏教思想か	第20号(1996年3月)	25-37(L)
望月 海慧 菅野 龍清	馬鳴に帰される『十不善業道説示』の研究	第20号(1996年3月)	1-24(L)
浅井 円道	《巻頭言》	第21号(1997年3月)	—

佛教学論集 総目次

編集委員	【目次】	第21号(1997年3月)	-
安藤 昌就	常楽院日経造立の日蓮聖人像 新紹介の旧京都上行寺祖師像について	第21号(1997年3月)	1-21
柴田 章延	御許山佛通寺所蔵の史料について 特に「伝 弘法大師真筆細字法華經」について	第21号(1997年3月)	22-33
高森 大乗	譬喩にみる日蓮聖人の法華經観 法華經および題目五字七字の譬喩的表現を通じて	第21号(1997年3月)	34-47
田村 完爾	『法華玄義』六重本述と広蔵院日辰の本仏観	第21号(1997年3月)	48-71
佐野 靖夫	《見えるもの》と《見てしまうもの》 『阿毘達磨大毘婆沙論』定蘊一行納息第五之四をめぐる一試論	第21号(1997年3月)	72-80
荒 万里子	日蓮聖人佐渡配流の道について「鎌倉街道」を中心に	第21号(1997年3月)	81-88
長谷川 正身	唯識(転変論)に関する一考察	第21号(1997年3月)	89-96
編集委員	【彙報】	第21号(1997年3月)	97
編集委員	【編集後記】	第21号(1997年3月)	98
編集委員	【執筆者紹介】	第21号(1997年3月)	99
大谷 正幸	るりとそらとほとけ 群青と金色のイメージ	第21号(1997年3月)	1-20(L)
渡邊 賢陽	《巻頭言》「生き方」と学問の課題	第22号(1998年3月)	-
編集委員	【目次】	第22号(1998年3月)	-
田村 完爾	本眷属妙について	第22号(1998年3月)	1-11
荒 万里子	三十番神研究史の概観	第22号(1998年3月)	12-26
白山 和宏	成実宗における四諦説	第22号(1998年3月)	27-33
編集委員	【彙報】	第22号(1998年3月)	34
編集委員	【編集後記】	第22号(1998年3月)	35
編集委員	【執筆者紹介】	第22号(1998年3月)	36
立正大学大学院 部派佛教思想研究会	業・Karma・las『俱舍論』業品講読ノート	第22号(1998年3月)	21-37(L)
佐野 靖夫	《自性》の意味するところ 玄奘における翻訳スタンス	第22号(1998年3月)	10-20(L)
村上 憲彦	『六度集經』に見られる燃燈仏物語の一試論「梵志本生」と「憍童受決經」を中心にして	第22号(1998年3月)	1-9(L)
高木 豊	《巻頭言》もう一つの日蓮遺文のセット 見果てぬ夢の一つ	第23号(1999年3月)	-
編集委員	【目次】	第23号(1999年3月)	-
高森 大乗	法華七喻と日蓮聖人の末法救済論 三車火宅喻と良医治子喻の解釈を中心に	第23号(1999年3月)	1-10
田村 完爾	常寂光土について 天台智顗の解釈を中心に	第23号(1999年3月)	11-25
玉木 晃仁	日蓮聖人の「正直」についての一考察 神祕観を中心として	第23号(1999年3月)	27-34
荒 万里子	三十番神の像容に関する一考察	第23号(1999年3月)	35-49
長谷川 正身	唯識転変説の三局面について その生命科学論的解釈	第23号(1999年3月)	51-61
池谷 真敬	伊豆国三島における日蓮教団の展開 日昭門流の進出と玉沢妙法華寺	第23号(1999年3月)	63-77
矢吹 修一	胡族君主と仏教僧の政治的関わり	第23号(1999年3月)	79-88
小西 頭一郎	慶林坊日隆の『信心法度』についての一考察	第23号(1999年3月)	89-103
小埜 栄輝	仏法と世法について	第23号(1999年3月)	105-111
荒 營子	日蓮聖人における中国史の知識 御遺文に登場する人物像を中心に	第23号(1999年3月)	113-124
編集委員	【彙報】	第23号(1999年3月)	125
編集委員	【編集後記】	第23号(1999年3月)	126
編集委員	【執筆者紹介】	第23号(1999年3月)	127
洪 鴻榮	禪定論の一考察 特に安那般那(ānāpāna)を中心として	第23号(1999年3月)	25-46(L)
堀江 宏文	バガン仏塔の一考察	第23号(1999年3月)	15-24(L)
鄭 世成	高麗大党国師義天の研究	第23号(1999年3月)	1-13(L)

佛教学論集 総目次

佐々木 孝憲	《巻頭言》一語百意	第24号(2000年3月)	—
編集委員	【目次】	第24号(2000年3月)	—
高森 大乘	日蓮聖人の情報網と連絡網 分析と展望	第24号(2000年3月)	1-49
荒 万里子	仏師林如如に関する一考察	第24号(2000年3月)	51-62
池谷 真敬	行学院日朝と三島本覚寺 明応九年日朝書状を手掛かりに	第24号(2000年3月)	63-69
岩田 親靜	「一断一切断、一成一切成」解釈考 明恵房高弁撰『金師子章光顯鈔』を中心として	第24号(2000年3月)	71-81
小埜 栄輝	日蓮聖人の国土観 佐前における国土観を中心に	第24号(2000年3月)	83-104
荒 營子	日蓮聖人の歴史叙述に関する編年的考察 中国史を中心に	第24号(2000年3月)	105-149
竹石 慈清	了義日達と『現安後善鈔』	第24号(2000年3月)	151-160
編集委員	【彙報】	第24号(2000年3月)	161
編集委員	【編集後記】	第24号(2000年3月)	162
編集委員	【執筆者紹介】	第24号(2000年3月)	—
小松 邦彰	《巻頭言》読むこと、書くこと	第25号(2003年3月)	—
編集委員	【目次】	第25号(2003年3月)	—
田村 完爾	法華教学における釈尊観の一側面 天台智顗における良医喻受容の考察(下)	第25号(2003年3月)	1-26
山村 本龍	『決膜明眼論』の研究	第25号(2003年3月)	27-38
野中 隆謨	日蓮遺文における「是名持戒」の文について	第25号(2003年3月)	39-44
堀部 孝二	西山本門寺所蔵『御遷化記録』所収「宗祖略伝」に関する一考察	第25号(2003年3月)	45-54
森影 康伸	日蓮聖人の秘法について	第25号(2003年3月)	55-62
伊藤 泰顯	法華思想の国土観 日蓮聖人の『開目抄』における浄土観	第25号(2003年3月)	63-69
野口 真利	『峨眉集』「草木修性」	第25号(2003年3月)	71-75
編集委員	【編集後記】	第25号(2003年3月)	—
編集委員	【執筆者紹介】	第25号(2003年3月)	—
胡 建明	清涼澄観における禅思想の研究 教禅和合の端緒に注目して	第25号(2003年3月)	45-56(L)
周 柔含	「四善根」思想の起源に関する考察	第25号(2003年3月)	33-44(L)
洪 鴻栄	大毘婆沙論における止観の構造	第25号(2003年3月)	19-32(L)
三友 健容 アルス・グリ・グリ	ウルムチ博物館等所蔵古代ウイグル文字佛教文献第一次調査報告書	第25号(2003年3月)	1-18(L)
三友 健容	《巻頭言》	第26号(2006年10月)	—
編集委員	【目次】	第26号(2006年10月)	—
森 清顕	『一代五時図』の伝来について	第26号(2006年10月)	1-13
田村 真依子	上方における「日蓮記物」の上演について 他宗との比較を中心に	第26号(2006年10月)	15-21
堀部 孝二	中世日蓮教団における御影の造立とその信仰	第26号(2006年10月)	23-42
荒 達子	日蓮聖人の大曼荼羅について 授与書を中心に	第26号(2006年10月)	43-60
今 修司	〈月例研究発表会研究報告〉 『一乗要決』の研究 撰述の真意は何か	第26号(2006年10月)	61-62
土井 照美	〈月例研究発表会研究報告〉 千葉県民の民間信仰について 特に庚申信仰および地蔵信仰の石造物を中心として	第26号(2006年10月)	62-67
編集委員	【彙報】	第26号(2006年10月)	69-70
編集委員	【編集後記】	第26号(2006年10月)	—
編集委員	【執筆者紹介】	第26号(2006年10月)	—
古力・阿孜古麗	セランド(西域)における古代ウイグル文字仏教文献の研究について	第26号(2006年10月)	15-57(L)
周 柔含	順決択分に関わる「失地捨」の問題	第26号(2006年10月)	1-13(L)
庵谷 行亨	《巻頭言》	第27号(2009年3月)	—

佛教学論集 総目次

編集委員	【目次】	第27号(2009年3月)	—
中尾 堯	日蓮宗初期の本尊勧請 造像の記録をめぐって	第27号(2009年3月)	1-13
本間 俊文	日興本尊授与書にみる日興とその門弟	第27号(2009年3月)	15-40
林 是恭	身延山内金石文の研究 大名家墓を中心として	第27号(2009年3月)	41-79
編集委員	【彙報】	第27号(2009年3月)	81-82
編集委員	【編集後記】	第27号(2009年3月)	—
編集委員	【執筆者紹介】	第27号(2009年3月)	—
金 炳坤(慧鏡)	僧筆記「法華翻經後記」偽撰説の全貌と解明	第27号(2009年3月)	29-55(L)
塚本 啓祥	NormanによるAśoka刻文の研究	第27号(2009年3月)	1-27(L)
仲澤 浩祐	《巻頭言》仏教学研究会発足と『仏教学論集』発刊を振り返って	第28号(2011年3月)	—
編集委員	【目次】	第28号(2011年3月)	—
栗原 啓文	加越能三国における法華信仰圏の交流 長谷川等伯の作品を中心として	第28号(2011年3月)	1-9
徳永 前啓	明治・大正期における日蓮宗と皇室について 村豊日栄と松森靈運の行動を中心として	第28号(2011年3月)	11-39
編集委員	【彙報】	第28号(2011年3月)	41
編集委員	【編集後記】	第28号(2011年3月)	—
編集委員	【執筆者紹介】	第28号(2011年3月)	—
日比 佑香	五蘊の物質性と生理学的心理機関との比較検討	第28号(2011年3月)	67-78(L)
大門 浩子	キジル石窟における涅槃空間	第28号(2011年3月)	53-66(L)
金 炳坤(慧鏡)	元曉『法華宗要』訳注(2)	第28号(2011年3月)	17-52(L)
庄司 史生	立正大学図書館所蔵・河口慧海将来チベット語訳『八千頌般若経』	第28号(2011年3月)	1-16(L)
伊藤瑞軒	《巻頭言》日蓮門下として、その研究態度について	第29号(2012年3月)	—
編集委員	【目次】	第29号(2012年3月)	—
穂坂 悠子	『超日明三昧経』の五障・三従説と女人成仏説に関する考察 法華経提婆達多品・日蓮聖人遺文の説示をふまえながら	第29号(2012年3月)	1-13
本間 俊文	日興門流の徳治二年法難に関する一考察	第29号(2012年3月)	15-29
山下 宗秀	日蓮教学における三五の二法についての一考察	第29号(2012年3月)	31-46
芹澤 寛隆	日蓮聖人における「時」認識 御遺文・曼荼羅に見られる「年号」に対する意識を中心として	第29号(2012年3月)	47-55
桑名 法晃	日蓮聖人の本尊の実体と形態について 主な諸先生の解釈を中心として	第29号(2012年3月)	57-71
岩淵 未紀子・桑名 法晃 徳永 前啓・深谷 恵子	《史料紹介》尊重院日徳著『徳師年譜』(佐賀県松尾山光勝寺所蔵)	第29号(2012年3月)	73-93
編集委員	【彙報】	第29号(2012年3月)	95
編集委員	【編集後記】	第29号(2012年3月)	—
編集委員	【執筆者紹介】	第29号(2012年3月)	—
中井 久美子	女人成仏研究の諸問題について 「提婆達多品」の龍女成仏を中心に	第29号(2012年3月)	61-68(L)
堀江 正教	大乘仏教起源の諸見解について	第29号(2012年3月)	43-59(L)
日比 佑香	無間縁と等無間縁	第29号(2012年3月)	31-41(L)
大門 浩子	亀茲国の仏教についての一考察 スパシ遺跡よりみる文化的側面	第29号(2012年3月)	19-29(L)
内藤 善之	キジル石窟中にあらわされる焰肩表現について	第29号(2012年3月)	1-17(L)
松村 壽巖	《巻頭言》	第30号(2013年3月)	—
編集委員	【目次】	第30号(2013年3月)	—
桑名 法晃	日蓮聖人における本門の意味 『開目抄』『観心本尊抄』を中心として	第30号(2013年3月)	—
徳永 前啓・桑名 法晃 神田 大輝・戸田 博	《史料紹介》幸円院日徳著『中山と両寺一寺論』(佐賀県松尾山光勝寺所蔵)	第30号(2013年3月)	—
編集委員	【彙報】	第30号(2013年3月)	—

佛教学論集 総目次

編集委員	【編集後記】	第30号(2013年3月)	-
編集委員	【執筆者紹介】	第30号(2013年3月)	-
中井 久美子	法華経提婆品における龍女成仏について 中国諸師の理解を中心として	第30号(2013年3月)	-
田口 恵敬	『大乗莊嚴経論』菩提品編纂へのAsaṅgaの関与について 『撰大乗論』彼果智分の記述との比較から	第30号(2013年3月)	-
日比 佑香	『成業論』における涅槃後の識の相続	第30号(2013年3月)	-
内藤 善之	古代亀茲地方における仏教変遷について 阿艾(阿艾)石窟を中心として	第30号(2013年3月)	-
藤野 泰二	吉蔵の法華経信解品の理解について	第30号(2013年3月)	-

【編集後記】

○ 『仏教学論集』第三十号を諸師諸兄の皆様にお届け致します。昭和三十九年の創刊以来、三十号の節目にあたる本年度は、また立正大学大学院仏教学研究会の発足五十周年の節目の年でもあります。これにより、本号を、立正大学大学院仏教学研究会創立五十周年・創刊三十号記念号として編集致しました。今後先輩諸師の学究の燈火を絶やすことなく、刊行を継続していきたいとお願いいたしておりますので、何卒御理解と御支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

○ 本学大学院文学研究科仏教学専攻主任、松村壽巖先生には、御多忙中にもかかわらず巻頭の玉稿を賜りました。謹んで御礼申し上げます。

○ 本号では史料紹介として、佐賀県松尾山光勝寺所蔵の幸円院日徳著『中山と両寺一寺論』を翻刻致しました。本稿は、平成二十四年度立正大学大学院講義「宗史演習(一)」(担当…寺尾英智教授)の成果に依るものであります。

○ 巻末に創刊号より三十号までの所収論文の総目次を付しました。併せて皆さまの研究にご活用頂ければ幸いです。なお、本目次の作成には、本学仏教学部非常勤講師、金炳坤先生にお力添えを頂きました。謹んで御礼申し上げます。

○ 本号は、経費削減のため、写真製版での発刊となります。入力・校正作業にあたり、執筆者各位の御協力を賜りました。重ねて御礼申し上げます。

(S・M)